

関西経済レポート

2009年8月3日
関経連経済調査部

～目次～

政府・日銀の景況判断	1
輸出入	2
生産、大口電力需要	4
設備投資	6
倒産	7
雇用	8
個人消費	9
住宅投資	11
公共事業、株価為替の動き	12
今後の経済見通し	13

～政府・日銀の景気判断～

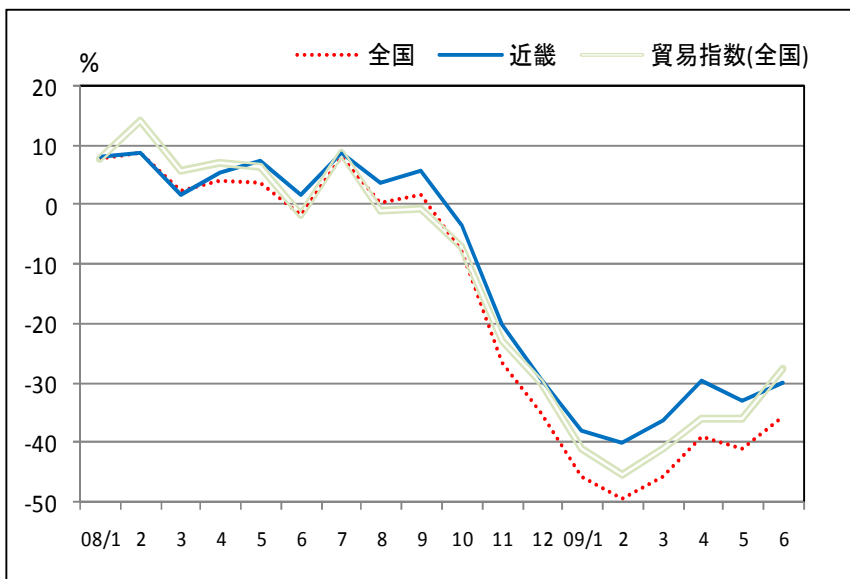
	近畿	近畿地区金融経済概況 日銀大阪支店	中部	金融経済月報 日銀名古屋支店	全国	金融経済月報 日銀	全国	月例経済報告 内閣府
2008年5月	⇒	一部には減速の動きが見られるが、基調としては緩やかに拡大している。	⇒	緩やかな拡大基調にあるが、その速度は足もと鈍化している。	⇒	減速している。	⇒	景気回復はこのところ足踏み状態にある。
2008年6月	⇒	一部には減速の動きが見られるが、基調としては緩やかに拡大している。	⇒	緩やかな拡大基調にあるが、その速度は足もと鈍化している。	⇒	減速している。	⇩	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きが見られる。
2008年7月	⇩	減速している。	⇩	引き続き高水準にあるが、足もとは減速がはっきりしてきている	⇩	さらに減速している。	⇒	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きが見られる。
2008年8月	⇒	減速している。	⇒	引き続き高水準にあるが、減速がはっきりしてきている	⇩	停滞している。	⇩	このところ弱音んでいる。
2008年9月	⇒	減速している。	⇒	なお高水準を保っているものの、はっきりとした減速が続いている。	⇒	停滞している。	⇒	このところ弱音んでいる。
2008年10月	⇩	停滞している。	⇩	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	⇒	停滞している。	⇩	弱まっている。
2008年11月	⇒	停滞している。	⇒	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	⇩	停滞色が強まっている。	⇩	弱まっている。さらに下押し圧力が急速に高まっている。
2008年12月	⇩	停滞色を強めている。	⇩	急速に下降している。	⇩	悪化している。	⇩	悪化している。
2009年1月	⇩	悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇩	大幅に悪化している。	⇩	急速に悪化している。
2009年2月	⇩	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇩	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年3月	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年4月	⇩	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年5月	⇒	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	↗	引き続き下降しているが、その度合いは緩やかになっている。	↗	わが国の景気は悪化を続けているが、輸出や生産は下げ止まりつつある	↗	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ悪化のテンポが緩やかになっている。
2009年6月	↗	厳しい状況にあるが、悪化のテンポは和らいできている。	↗	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まりつつある。	↗	大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある。	↗	厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きが見られる。
2009年7月	↗	なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。	↗	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まっている。	↗	わが国の景気は下げ止まっている。	↗	厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。

○日銀大阪支店は7月の景況判断を「なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある」とした（6月から改善）。

- ・「輸出は、海外経済の悪化などを背景に、前年比で見ると大幅に減少しているが、足もとは持直している。設備投資は、企業収益が大幅に悪化するもとの、減少している。個人消費は、雇用者所得が減少する中、弱い動きが続いている。公共投資は増加している。こうした需要動向のもと、生産は、下げ止まりつつある。この間、企業の景況感は小幅ながら引き続き悪化している。」とした。

～輸出～

輸出金額・前年同月比増減率推移（09年6月速報まで）

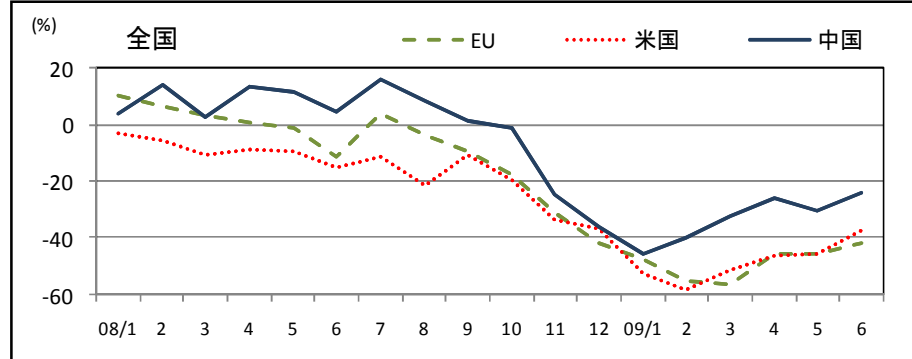
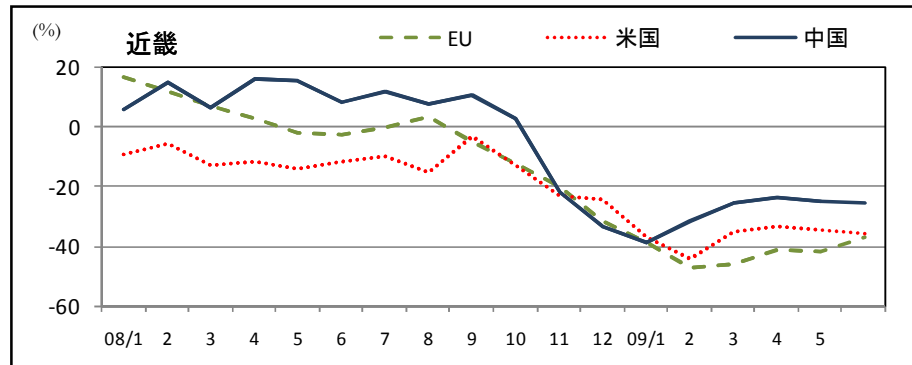


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

○近畿の月次の輸出動向（09年6月速報まで）

- ・09年6月の近畿の輸出は、前年同月比▲29.7%と9カ月連続のマイナス。前月（▲32.7%）からマイナス幅は縮小。
- ・地域別では、アジア▲25.7%、中国▲25.7%、EU▲36.6%、米国▲35.7%。アジアとEU向けでマイナス幅が縮小。中国と米国向けでマイナス幅が若干拡大。
- ・商品別では、建設用・鉱山用機械、鉄鋼、鉱物性燃料、自動車等の品目が減少に寄与。
- ・数量を表す貿易指数(全国6月)は、前年同月比▲27.6%と、前月（▲36.0%）からマイナス幅が縮小。

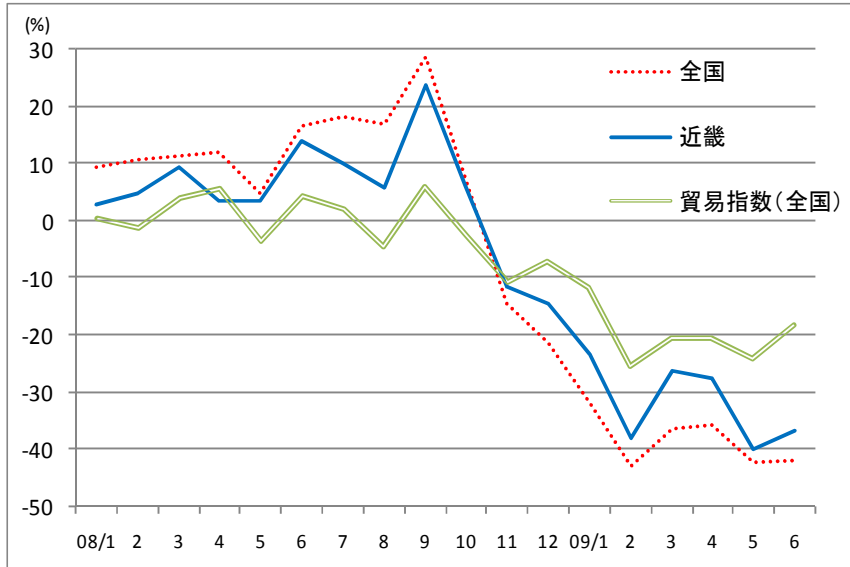
地域別輸出金額前年同月比推移・内容比較



商品名	近畿						
	3月		4月		5月	6月	
全体	▲ 36.2	↗	▲ 29.4	↘	▲ 32.7	↗	▲ 29.7
食料品	▲ 18.4	↗	▲ 4.7	↘	▲ 12.8	↘	▲ 16.1
原料品	▲ 33.5	↗	▲ 25.7	↗	▲ 18.6	↘	▲ 33.1
鉱物性燃料	▲ 59.6	↗	▲ 43.2	↘	▲ 61.1	↘	▲ 67.2
化学製品	▲ 28.7	↗	▲ 18.8	↘	▲ 28.5	↗	▲ 20.6
原料別製品	▲ 32.8	↗	▲ 28.0	↘	▲ 36.7	↗	▲ 32.4
一般機械	▲ 43.8	↘	▲ 44.3	↗	▲ 40.9	↘	▲ 43.0
電気機器	▲ 30.5	↗	▲ 18.7	↘	▲ 23.6	↗	▲ 16.3
輸送用機器	▲ 45.9	↘	▲ 47.4	↗	▲ 46.9	↗	▲ 46.0
その他	▲ 37.4	↗	▲ 28.3	↗	▲ 26.3	↗	▲ 22.5

～輸入～

輸入金額・前年同月比増減率推移（09年6月速報まで）

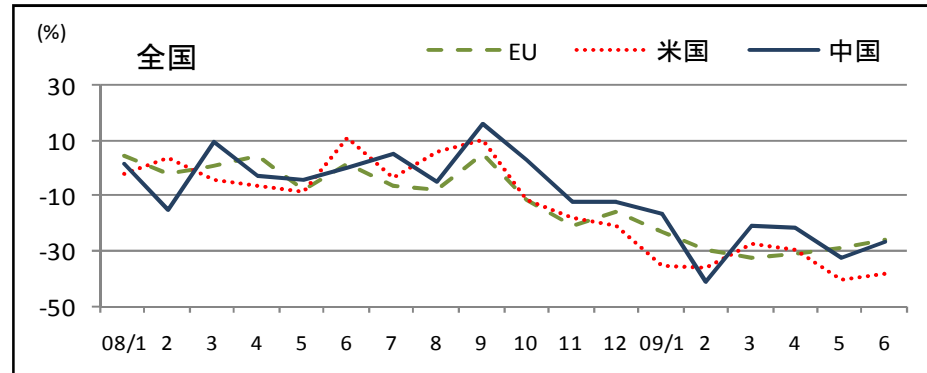
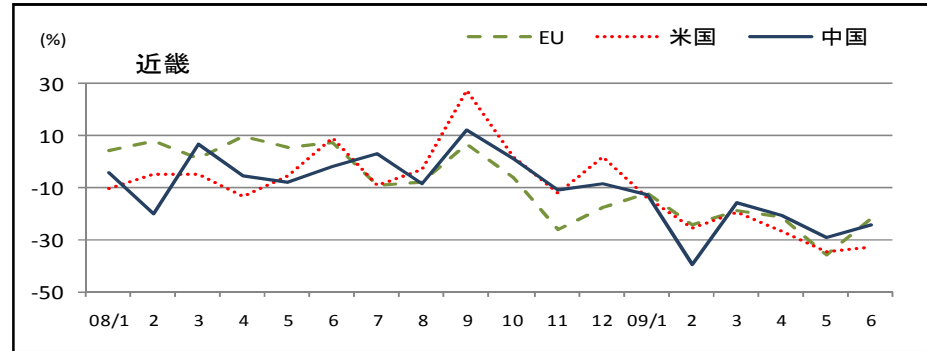


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

○近畿の月次の輸入動向（09年6月速報まで）

- ・09年6月の近畿の輸入は前年同月比▲36.7%と8カ月連続の減少。前月(▲40.0%)からマイナス幅は縮小。
- ・地域別では、アジア▲28.8%、EU▲22.2%、中国▲24.4%、米国▲32.5%。特にEU向けのマイナス幅が縮小。
- ・商品別では原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、非鉄金属、鉄鋼等が減少に寄与。鉄鋼の伸び率は▲71.7%と、過去最大のマイナス幅。原油及び粗油、天然ガス及び製造ガスについては、価格下落の影響が大きい。
- ・数量を表す貿易指数(全国6月)は、前年同月比▲18.1%と前月(▲24.1%)からマイナス幅は縮小。

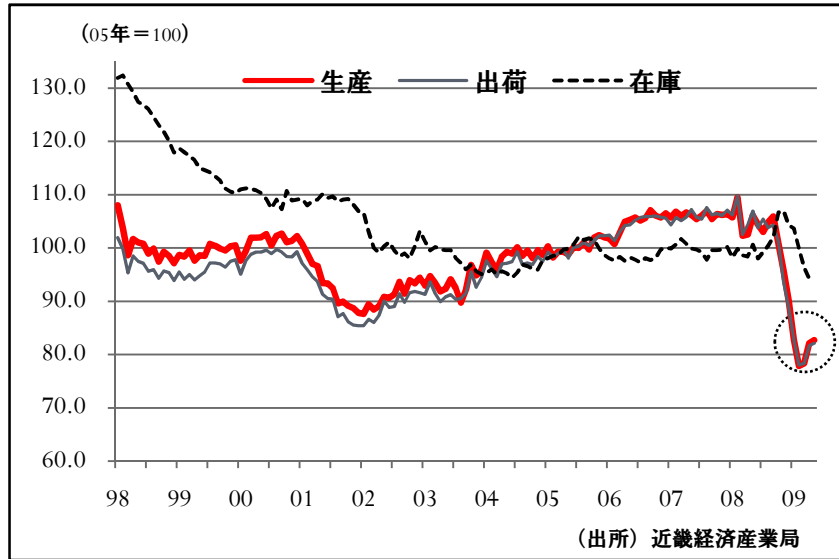
地域別輸入金額増減前年同月比推移・内容比較



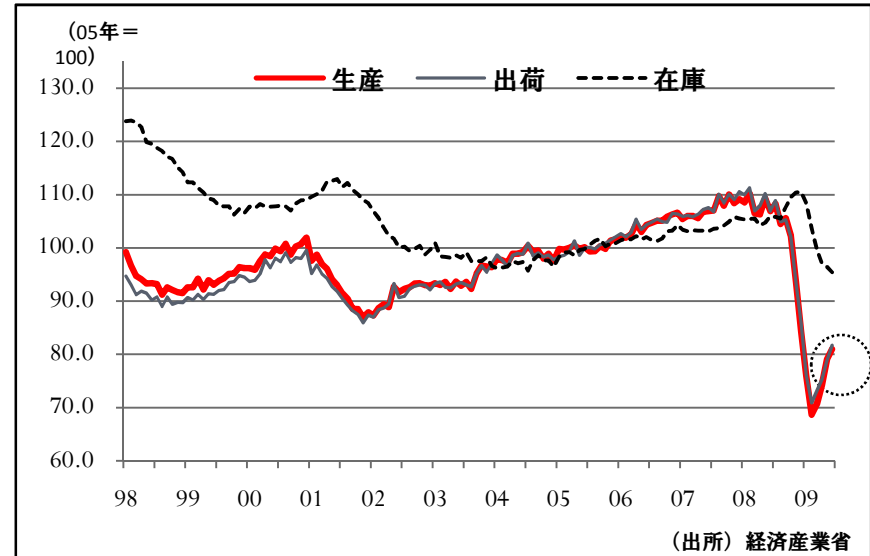
商品名	近畿					
	3月		4月		5月	6月
全体	▲ 26.4	↘	▲ 27.5	↘	▲ 40.0	↗ ▲ 36.7
食料品	▲ 5.9	↘	▲ 15.7	↘	▲ 20.3	↗ ▲ 13.4
原料品	▲ 44.4	↗	▲ 41.6	↘	▲ 45.2	↘ ▲ 47.8
鉱物性燃料	▲ 41.3	↗	▲ 39.3	↘	▲ 66.1	↘ ▲ 67.2
化学製品	▲ 16.3	↘	▲ 16.6	↘	▲ 24.4	↗ ▲ 21.7
原料別製品	▲ 35.2	↘	▲ 41.0	↘	▲ 50.1	↗ ▲ 48.1
一般機械	▲ 35.8	↘	▲ 36.3	↘	▲ 46.1	↗ ▲ 31.0
電気機器	▲ 33.1	↗	▲ 28.1	↗	▲ 26.9	↗ ▲ 22.0
輸送用機器	▲ 25.6	↘	▲ 32.9	↘	▲ 34.8	↘ ▲ 36.6
その他	▲ 2.6	↘	▲ 8.7	↘	▲ 21.2	↗ ▲ 15.2

～生産～

鉱工業指数の推移（前月比 近畿 09年5月確報まで）



鉱工業指数の推移（前月比 全国 09年6月速報まで）



業種別鉱工業生産指数（前月比）

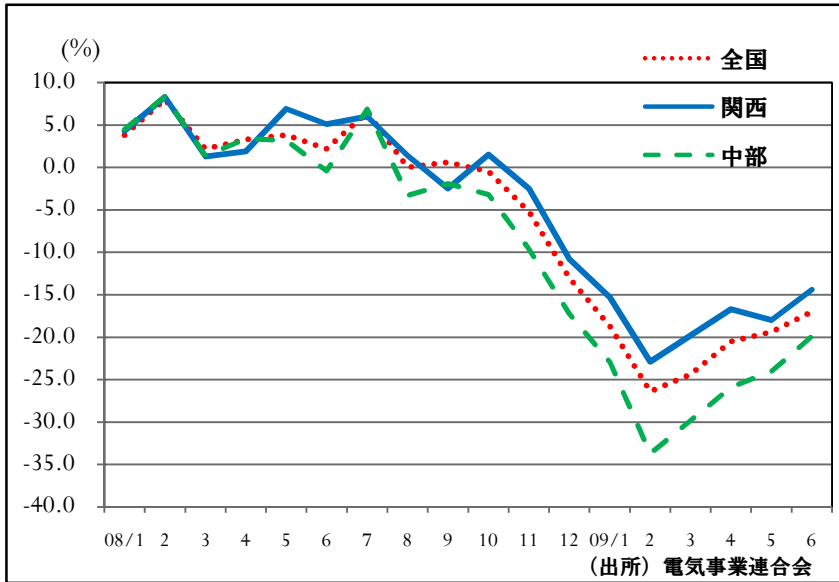
* 網掛は、生産が前月比プラスの業種

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿4月	4.9	5.4	▲3.9	3.5	5.9	▲11.2	9.6	8.6	10.5	3.6
近畿5月	0.7	6.6	9.6	▲4.6	2.5	2.3	7.0	1.7	▲3.6	▲2.6
全国6月	2.4	10.1	▲1.3	2.6	5.0	4.8	12.5	0.7		

- ・ 近畿の5月（確報）の鉱工業生産指数は、前月比+0.7%と3カ月連続の上昇。出荷は前月比+0.6%と3カ月連続の上昇。在庫は、前月比▲2.2%と6カ月連続の低下。総じてみれば持ち直しの動きが見られる。生産の上昇に寄与した業種は、電子部品・デバイス工業、鉄鋼業等。品目別にみると、橋りょう、反作用機器、半導体 製造装置の順に上昇に寄与。
- ・ 全国の6月（速報）の鉱工業生産指数は、前月比+2.4%と4カ月連続の上昇。持ち直しの動きが見られる。電子部品・デバイス工業、鉄鋼業、化学工業（除.医薬品）等が上昇に寄与。品目別にみると、モス型半導体集積回路（ロジック）、普通乗用車、モス型半導体集積回路（メモリ）の順に上昇に寄与。出荷は、前月比+3.5%と4カ月連続の上昇。在庫は、前月比 ▲1.0%と6カ月連続の低下。また、製造工業生産予測調査によると、7月、8月とも上昇を予測している。

～大口電力需要～

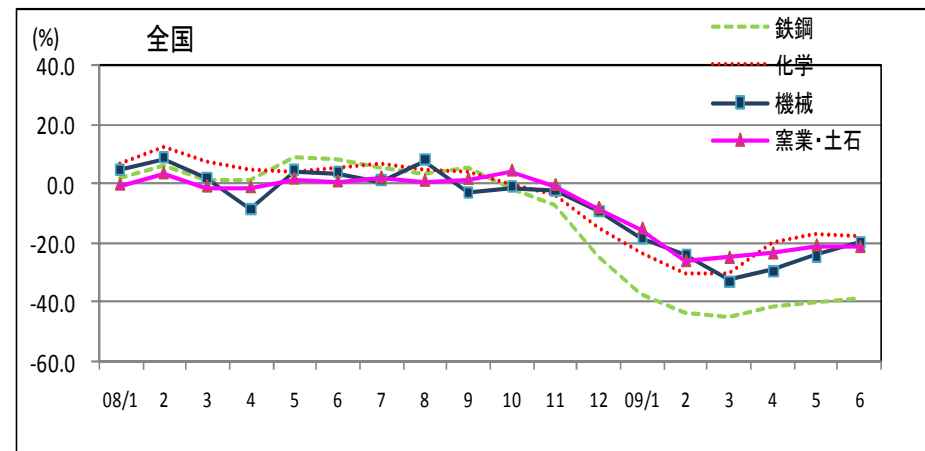
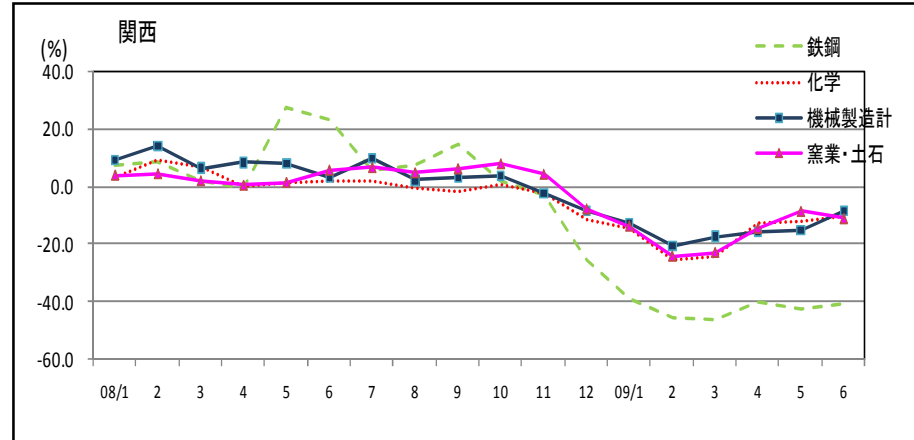
産業用大口電力需要（対前年伸び率・09年6月まで）



・関西の大口電力実績は、対前年比▲14.4%と8カ月連続で前年実績を下回った。前月(▲18.0%)からマイナス幅は縮小。全国は▲17.0%で前月(▲19.4%)からマイナス幅が縮小。

・関西を業種別にみると、主要11業種のうち、『食料品』(+1.0%)および『石油・石炭製品』(+1.4%)の2業種が前年実績を上回った。
また、前年比マイナスの業種でも、窯業・土石以外の業種はマイナス幅が前月から縮小した。

大口電力産業別実績（対前年伸び率・09年6月まで）

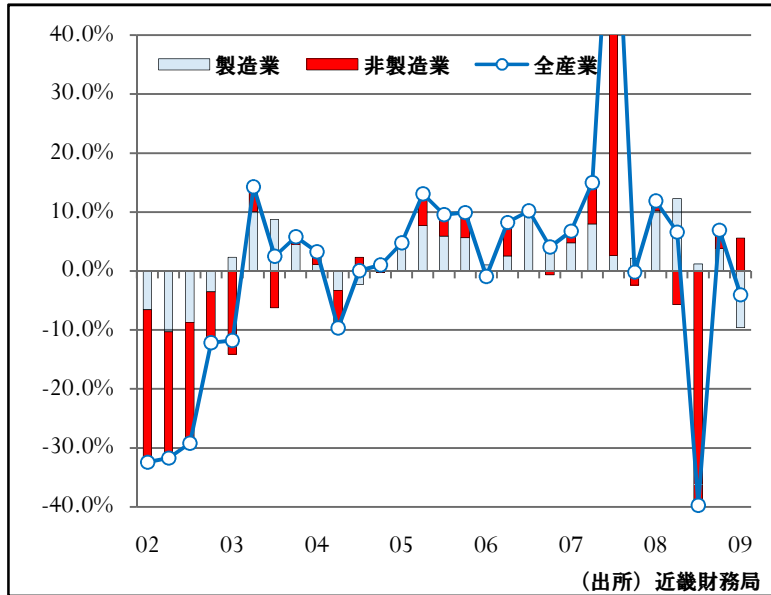


	繊維	パルプ・紙	化学	ゴム製品	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	機械製造計
5月	▲ 25.6	▲ 10.0	▲ 12.7	▲ 21.8	▲ 8.8	▲ 42.3	▲ 25.4	▲ 15.3
6月	▲ 20.7	▲ 5.7	▲ 10.6	▲ 15.2	▲ 11.3	▲ 40.7	▲ 22.3	▲ 8.6

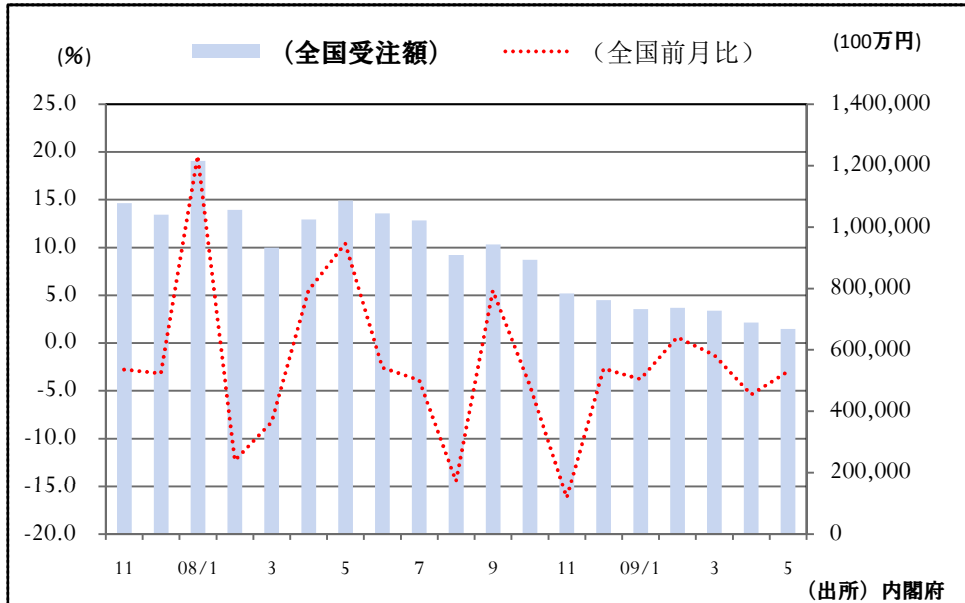
* 網掛は、前月からマイナス幅が縮小した業種

～設備投資～

設備投資額前年同期比（～09年1～3月期・近畿）



【参考】機械受注統計の推移（前月比 全国 09年5月実績まで）



○09年6月発表の法人企業統計（09年1～3月期）による（金融業・保険業を除く・含むソフトウェア）。

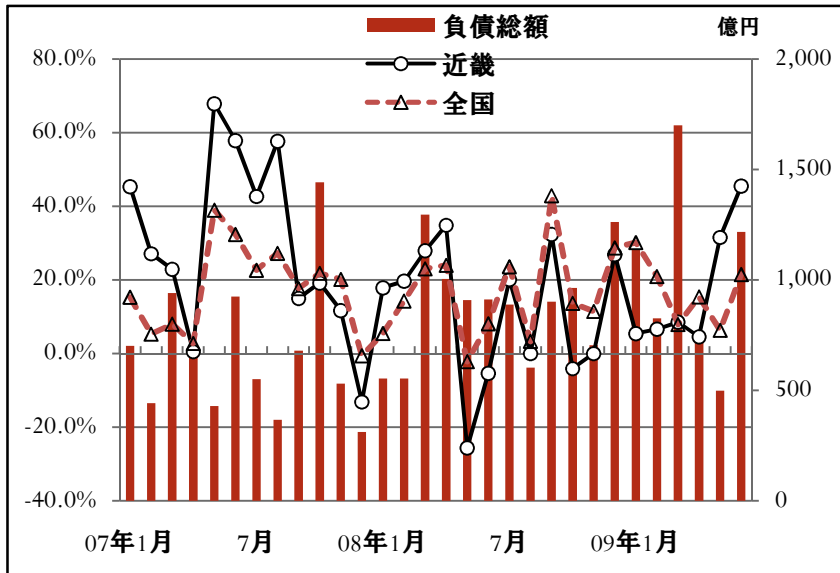
- ・近畿地区の09年1～3月期の設備投資は前年同期比▲4.0%。
非製造業は11.3%増であったが、製造業が▲19.0%と大幅減。製造業のマイナスは、2004年7～9月期以来。
- ・全国の09年1～3月期の設備投資は前年同期比▲25.3%。
業種別では、製造業▲7.6%、非製造業▲17.8%。

○機械受注統計の動向（民需 除く船電 09年5月実績まで）

- ・09年5月の「船舶・電力を除く民需」の機械受注額6,682億円で、前月比▲3.0%、3ヶ月連続のマイナス。受注額は1987年4月以来の最低水準。
- ・製造業は前月比同+5.4%の2,453億円、非製造業（除く船舶・電力）は同 ▲6.9%の4,216億円となった。
- ・製造業の業種別では、増加したのは、石油・石炭製品工業+124.8%、自動車工業+27.3%、一般機械+26.3%、その他輸送機械工業+43.2%等。鉄鋼業▲45.8%、紙・パルプ工業▲17.6%、非鉄金属▲10.7%等が減少。

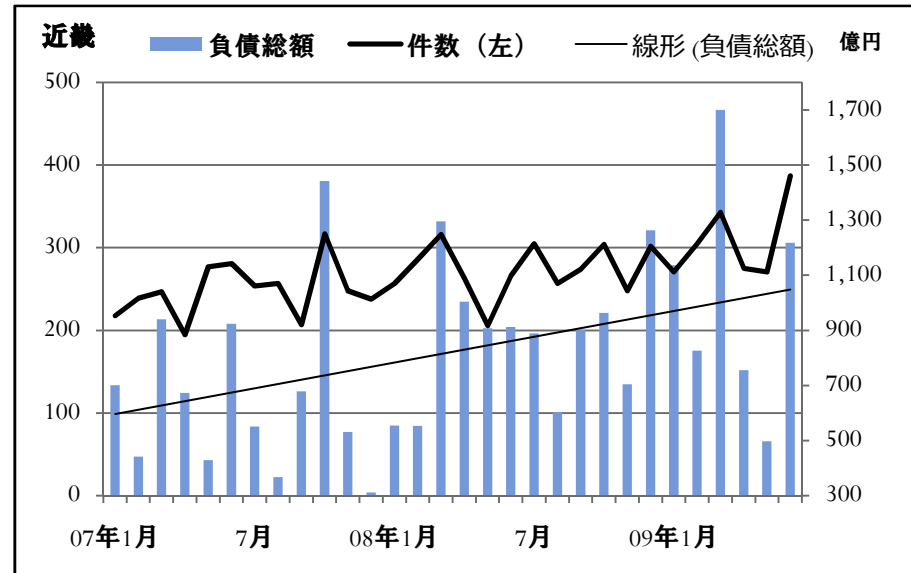
～倒産～

倒産件数・前年同月比の推移（07年1月～09年6月）



- ・ 09年6月の近畿の倒産件数は387件（前年同月+45.5%）と増加、2005年4月以降で最多となった。
- ・ 全国は1,294件（是年同月比+21.5%）。

近畿の倒産件数と負債総額の推移



（出所）帝国データバンク

- ・ 負債総額は前月比+144.6%の1218億円。今年3回目の1000億円超えとなり、早くも昨年（3月、4月、12月）と回数で並んだ。

新型インフルエンザ関連の倒産

○(株)いせや（大阪）と関連会社の(株)アンヴィ（東京）：玩具小売

郊外型大規模量販店の台頭から競争が激化し、収益面も悪化。不採算店舗の閉鎖などリストラに努めたものの業況は回復せず、2002年1月民事再生法の適用を申請、2005年8月に再生手続き終結決定を受けていた。

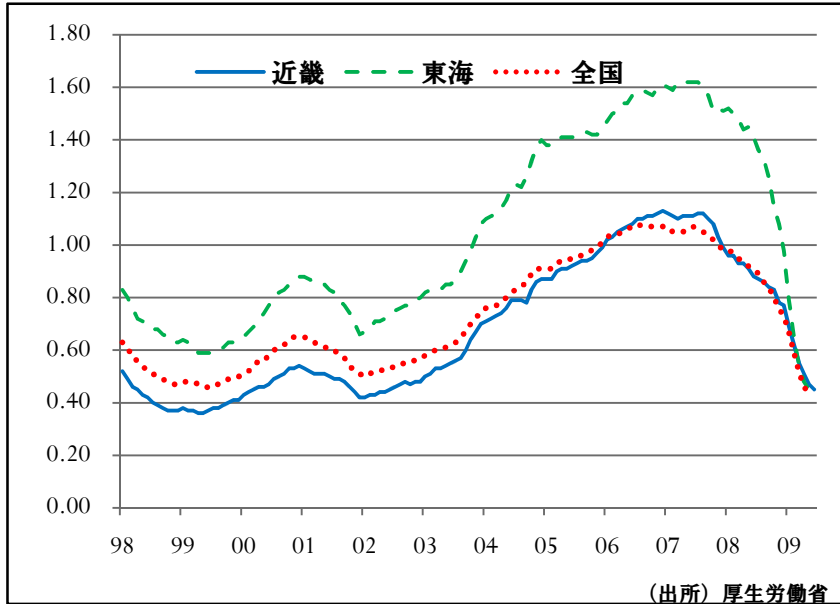
その後は関西国際空港、大阪国際空港、成田国際空港の3店舗での営業を続けていたが、今年に入り円高の影響などで海外からの来日客が減少、さらに4月に発生した新型インフルエンザ流行の影響から空港利用客が激減したことで各店舗とも売上が維持できず、破産手続き開始。

○(株)メトロポリタン（東京）：旅行業

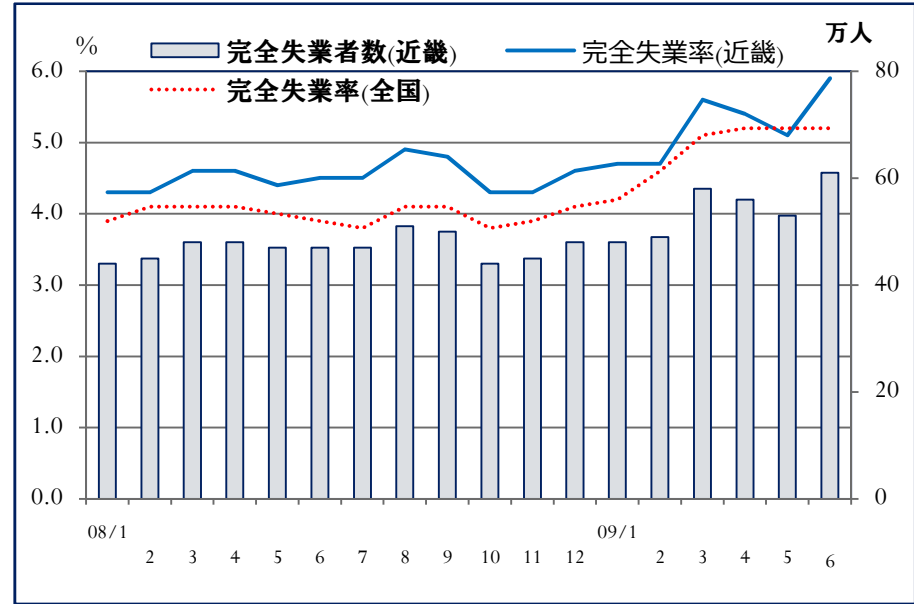
2008年秋の急激な景気後退等により業績が低迷。人件費などの削減を行い業況の回復を図っていたが、4月の新型インフルエンザの発生により、予約のキャンセルが相次ぎ翌月の売り上げがほぼゼロとなり、決済システムの利用が出来なくなっていた。6月以降の予約もすべてキャンセルとなるなど先行きの見通しが立たず、事業停止、自己破産申請へ。

～雇用～

有効求人倍率の推移（09年6月まで）



失業率の推移（09年6月まで）



地域別有効求人倍率（09年6月：下段は前月比）

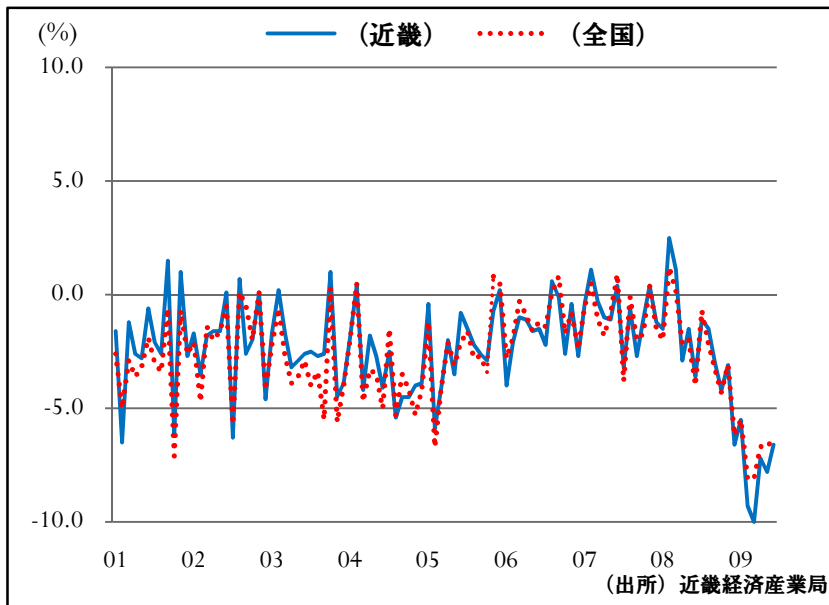
全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.43	0.31	0.33	0.48	0.41	0.47	0.43	0.45	0.53	0.54	0.38
▲0.01	0.00	0.00	▲0.02	0.00	0.00	▲0.02	▲0.02	▲0.02	▲0.01	0.00

- ・ 09年6月の近畿の有効求人倍率は0.45と、前月比▲0.02の悪化。63年以降の最低値は99年4～5月の0.36。
- ・ 全国は、0.43倍で前月比▲0.01。2カ月連続で最低水準を更新した。

- ・ 09年6月の近畿の完全失業率は5.9%で、前月(5.1%)から悪化。全国は5.2%で前月から横ばい。
- ・ 季節調整値では、全国6月は5.4%と、前月(5.2%)から悪化。03年6月以来の高水準。
- ・ 83年以降、失業率の最悪の値は、近畿7.1%(02年7～9月期)、全国5.5%(02年4～6月期、03年1～3月期、4～6月期)。

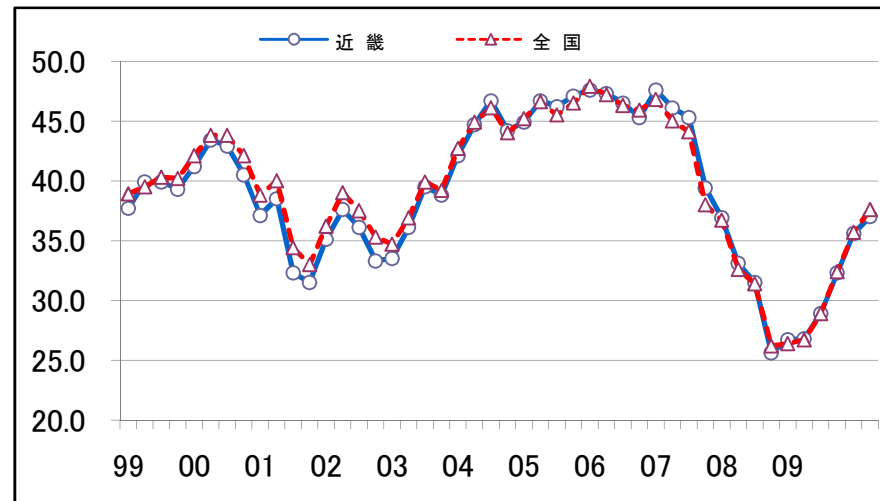
個人消費

大型小売店売上高（前年同月比・09年6月まで）



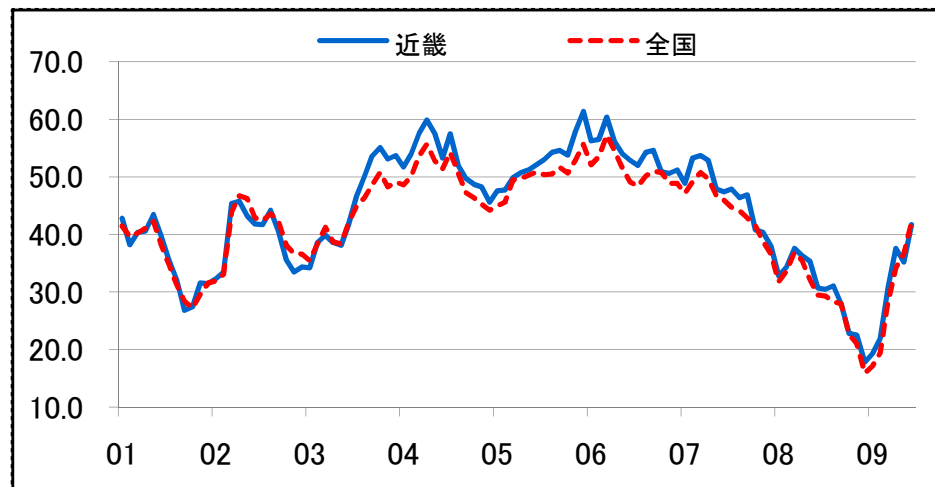
- ・近畿の09年6月の大型小売店売上高（既存店ベース）は前年比▲6.6%と15カ月連続のマイナス。昨年より日曜日が1日少なかったこと、長引く消費者マインドの低迷が影響。
- ・百貨店は、前年同月比▲8.9%（全国▲8.9%）と16か月連続のマイナス。商品別にみると、一部店での売り尽くしセールの好調により「家庭用電気機械器具」が前年を上回ったものの、宝飾・貴金属・時計などの高額品、化粧品等が不調だった「その他の商品」、ジャケット、ブラウス等が不調だった「婦人・子供服・洋品」、婦人靴等が不調だった「身の回り品」等が前年を下回った。
- ・スーパーは同▲5.0%（全国▲5.4%）と7か月連続のマイナス。商品別にみると、畜産品、水産品等が不調だった「飲食料品」、布団等が不調だった「その他の衣料品」、レイングッズ、バッグ等が不調だった「身の回り品」等全ての品目が前年を下回った。

消費者態度指数（09年6月まで）



- ・6月の消費動向調査によると、近畿の消費者態度指数は37.0と、前年同月比+3.9、2カ月連続の上昇。

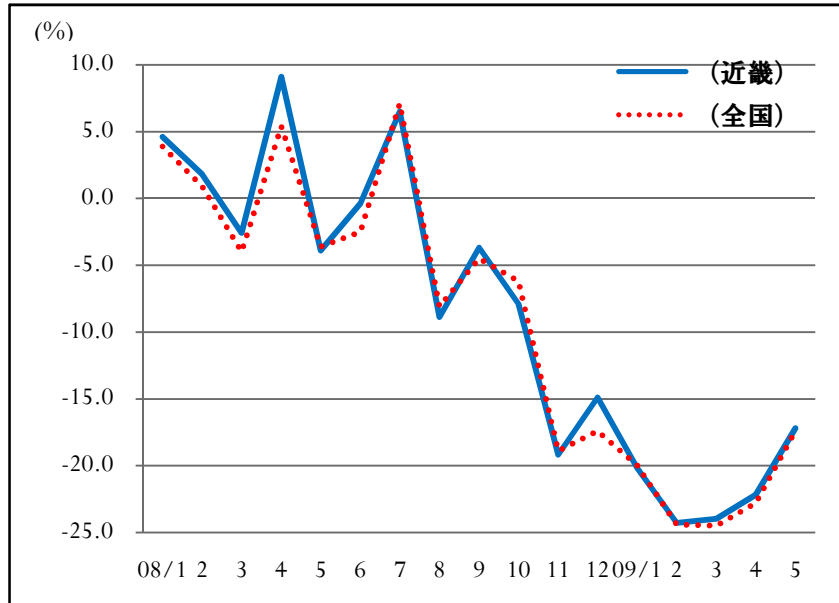
【参考】景気ウォッチャー調査（現状判断DI 09年6月まで）



- ・6月の近畿の現状判断DIは41.7で、前月（35.2）から+6.5の改善。全国は前月比+5.5の42.2と、6カ月連続で上昇。

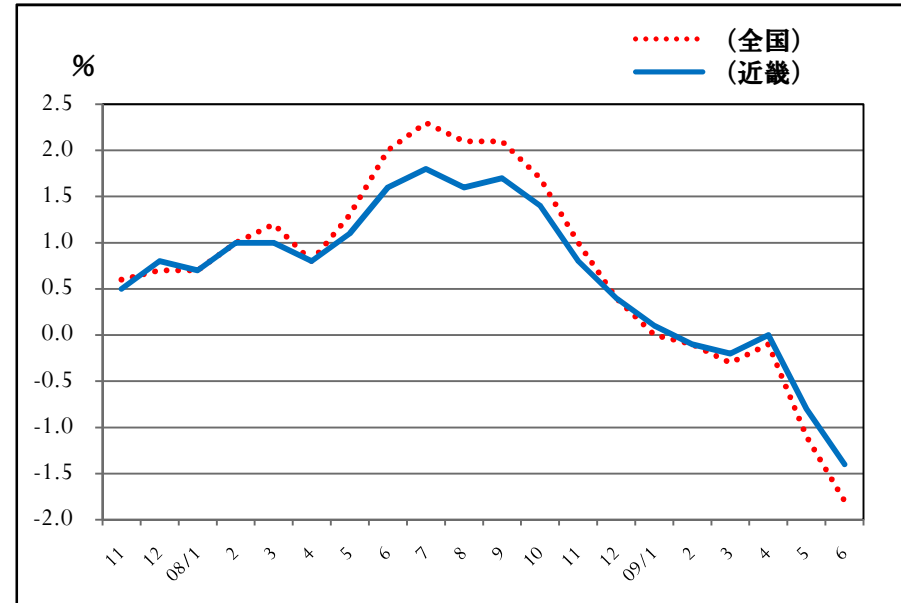
個人消費

新車登録台数（前年同月比・09年5月まで）



(出所) 近畿経済産業局

消費者物価指数（前年同月比・09年6月まで）



(出所) 総務省

・ 近畿の09年5月の新車登録台数は、前年同月比▲17.2%と10カ月連続でマイナス。但し前月（▲22.2%）からマイナス幅は縮小。

・ 車種別では、普通車（▲20.7%）のマイナス幅が前月（▲34.8%）から大きく縮小したが、10カ月連続で前年を下回った。小型車（▲11.4%）が10カ月連続、軽四車（▲20.1%）が5カ月連続で前年を下回った。

・ 近畿の09年6月の消費者物価指数は前年同月比▲1.4%。全国は▲1.8%で、比較可能な71年以降最大の下落率。

・ 交通・通信、光熱・水道、教養娯楽などが下落に寄与している。

【参考—家電販売額】

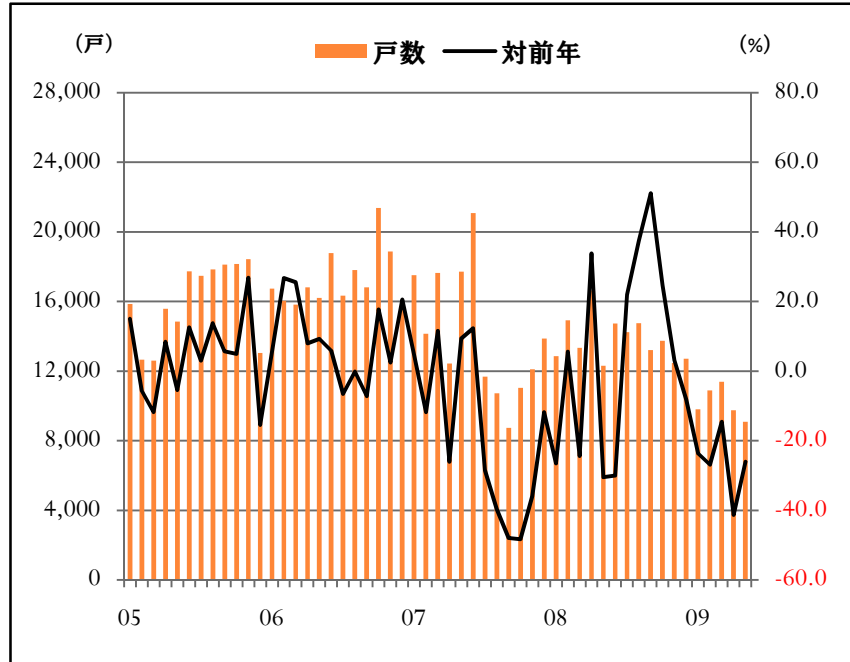
・ 近畿の09年5月の家電販売額は前年同月比+7.5%と、3カ月ぶりに前年を上回った。

・ 商品別では、カラーテレビ+24.6%、冷蔵庫+12.8%、調理家電+11.3%、空気清浄機+55.4%等が前年を上回った。マイナスだったのは、携帯電話▲17.9%、パソコン周辺機器▲10.8%等。

(出所)GfKジャパン

～住宅投資～

新規住宅着工戸数（近畿・09年6月まで）

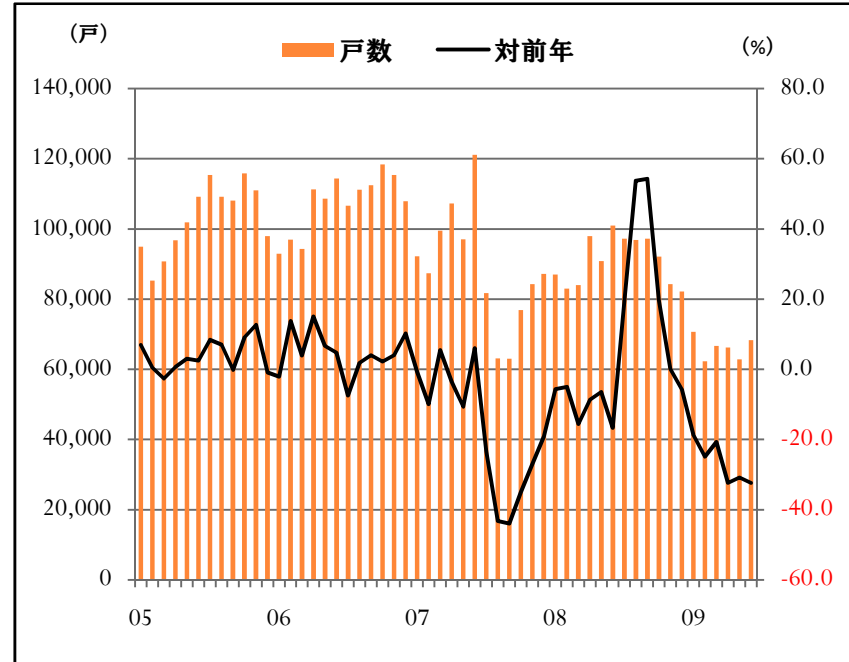


- ・近畿の新設住宅着工件数を見ると、6月は前年同月比▲30.4%と7カ月連続の減少。前月(▲26.1%)からマイナス幅は若干拡大。
- ・利用関係別の6月の対前年同月比は、持家▲9.5%、貸家▲34.1%、分譲▲41.0%。分譲のうち、マンションが▲70.7%、一戸建て住宅が▲15.1%。

【参考－マンション市場】

- ・近畿の09年6月の契約率は60.4%と、前月(64.5%)から減少。好不調の目安となる70%を大きく下回った。

新規住宅着工戸数（全国・09年6月まで）



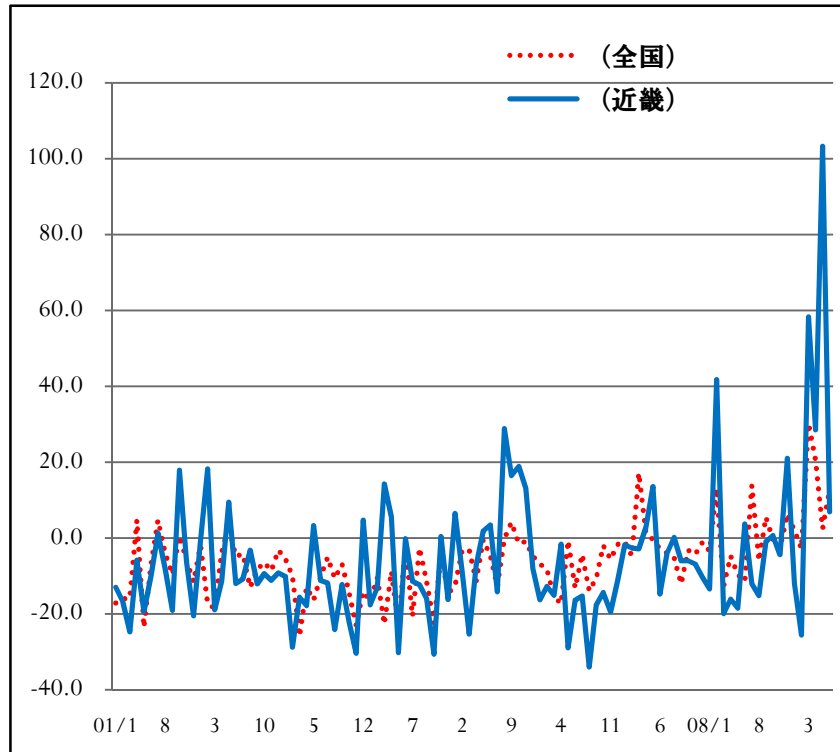
(出所) 国土交通省資料

- ・全国の新設住宅着工件数を見ると、6月は▲32.4%と6カ月連続の減少。
- ・利用関係別の6月の対前年同月比は、持家▲10.5%、貸家▲38.4%、分譲▲50.0%。分譲のうち、マンションが▲68.2%、一戸建て住宅が▲24.9%。

(出所) 不動産経済研究所資料

～公共事業～

公共工事動向（前年同月比 請負金額・09年6月まで）

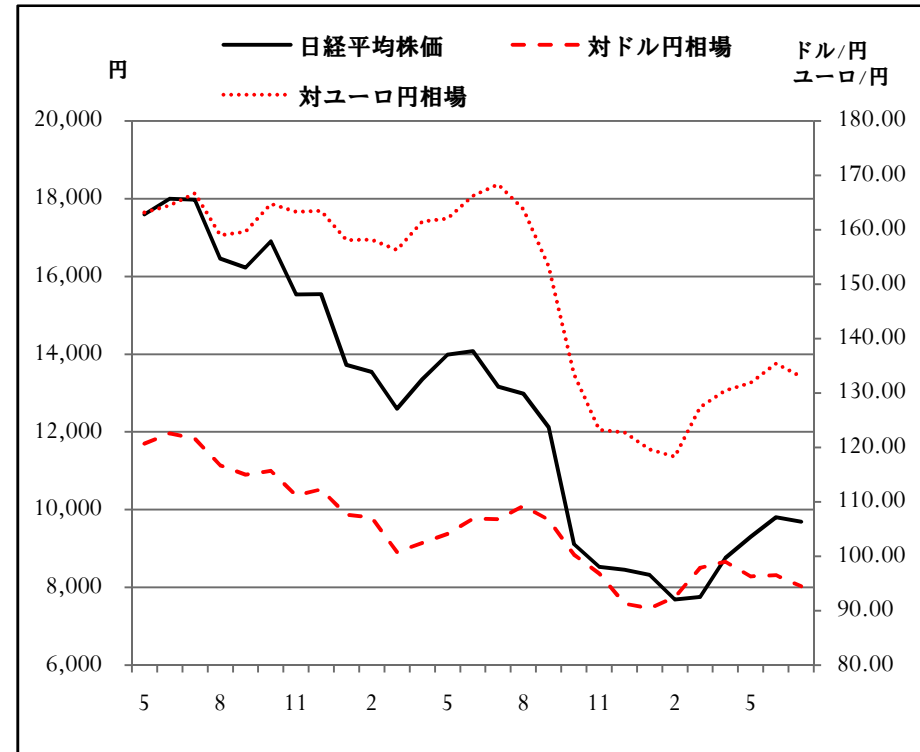


（出所）西日本建設業保証

- ・09年6月の近畿の公共工事請負額は、前年同月比+6.9%と増加し、1204億円となった。
受注者別では、国・府県・第3セクター等からの受注額が大幅に増加。府県別では、京都・大阪・和歌山で著増、滋賀・奈良が減少。
- ・主な工事は、第二京阪道路工事、都市計画道大和川線シールド工事、大阪府営住宅耐震改修工事、槇尾川ダム工事等。

～株式・為替相場～

株式・為替相場の動き（期中平均値・09年7月まで）



（出所）日本経済新聞社

- ・7月の日経平均株価(期中平均)は 9691.12円で、6月より 119.19円 の下落。
- ・7月の対ドル円相場(期中平均)は94.5円で、6月より2円の円高、対ユーロ円相場は133.0円で、6月より2.5円の円高であった。

～今後の経済見通し～

各シンクタンクなどの成長率見通し

		08年度	09年度	10年度
三菱UFJ	関西(4/16)	-2.5%	-3.2%	—
	中部(4/16)	-3.2%	-3.6%	—
	全国(6/12)	—	-3.5%	0.7%
KISER	関西(6/9)	-2.8%	-1.8%	-0.3%
	全国(5/26)	—	-2.2%	-1.1%

政府・日銀の成長率見通し

		08年度	09年度	10年度
内閣府	全国(6/11) 二次速報値	-3.3%	—	—
	全国(4/27)	-3.1%	-3.3%	—
	↑	↑	↑	
	全国(1/19)	-0.8%	0.0%	—
日銀	全国(4/30)	-3.2%	-3.1%	1.2%
	↑	↑	↑	↑
	全国(1/20)	-1.8%	-2.0%	1.5%

- ・ 関西経済について、KISERは、09年度、10年度ともマイナス成長を予測。
 前回予測から、09年度については上方修正、10年度については下方修正(2/24予測 09年度▲3.1%、10年度1.6%)
 10年度は、景気対策の効果が剥落することからマイナス成長を予測。
- ・ 内閣府 09年度経済見直しを見直し、実質GDP 09年度▲3.3%に下方修正。
 ▲3.3%には、経済危機対策による実質GDP押し上げ効果1.9%分が織り込まれている。
 内訳 民間最終消費支出 0.7%程度
 民間住宅 0.1%程度
 民間企業設備 0.4%程度
 政府最終消費支出 0.2%程度
 公的固定資本形成 0.6%程度
- ・ 日銀 実質GDP見直しを1月見直しから下方修正。08年度▲3.2%、09年度▲3.1%。10年度は+成長を見込む。